

法政多摩キャンパスライフ Campus Life 122

December 1, 2020 No.122

<http://www.hosei.ac.jp>第
73
回

自主法政祭多摩地区 抱星祭 ～夜の星空を見よう～

初・オンライン開催!



第73回自主法政祭多摩地区のご報告

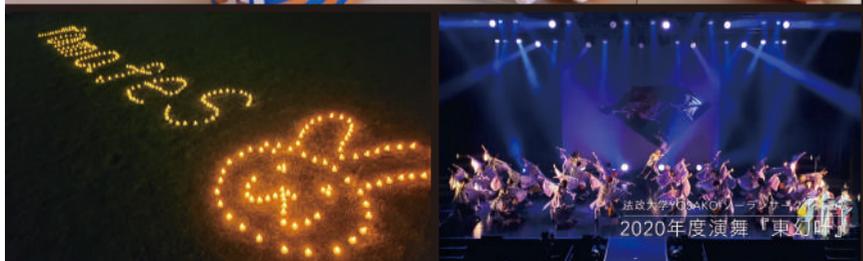
第73回自主法政祭多摩地区実行委員長 市村一真



過ぎし10月17日、第73回自主法政祭多摩地区（以下、多摩祭）が開催されました。今年度の多摩祭は、新型コロナウイルスによる昨今の社会情勢を考慮し、YouTubeの生配信機能を用いたオンラインでの開催となりました。動画総再生回数は約1万5千回にもものぼり、大盛況の多摩祭となりました。今年度の多摩祭は、長い歴史を誇る自主法政祭の中でも、史上初のオンラインでの開催となりました。残念なことに、大学構内での開催は願いませんでしたが、多くの方々のご協力をいただき、オンラインでの多摩祭という初めての試みを成功に終わらせることができました。

今年度は「抱星祭 ～夜の星空を見よう～」をテーマとし、多摩祭の特色である、夜まで楽しめる企画が盛りだくさんという点を、オンラインでもお届けできるよう尽力いたしました。企画では、例年多くの来場者の方にお楽しみいただける「学生発表」、花火を打ち上げる「多摩ナイト企画」、その他多くの企画が盛り上がりを見せました。また、毎年ご好評をいただいている芸能人の方々をお招きする企画では、アーティストライブ企画でヤユヨさん・MOSHIMOさん、お笑い企画ではラランドさん・COW COWさん・しゃかりきさん・ガリットチュウさん、フリーステージ企画で声優の谷口悠さんをMCに、柿原徹也さんのトークショーを行い、大変な盛り上がりを見せました。

最後に、今年度の多摩祭が、法大生、地域の方々、そして多摩祭にご参加いただいた全ての方を繋ぐ、架け橋となれたことを嬉しく思います。極めて異例な開催形態ではありましたが、多摩祭開催にあたりご尽力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



コロナに負けるな!

学生生活応援プロジェクト実施中!

法政大学では、コロナ禍にあっても学生の皆さんの充実した学生生活を止めないため、「学生生活応援プロジェクト」を実施しています。身近なものからグローバルなものまで、オンライン型・対面型（社会状況をみながら感染拡大予防を徹底しつつ計画します）など、学生生活を送る上でのヒントになるような様々なコンテンツを用意しています。ぜひ積極的に参加してください。

コンテンツ例

特集ホームページ：<https://www.hosei.ac.jp/pickup/article-20200915175322/>



多摩学生相談室からのお知らせ

～疲れた心身を休め、パワーを取り戻すために～

師走に入り、今年も残すところあとわずか…1年を振り返り、来年度の学生生活や、卒業後の過ごし方について考え始める時期でもありますね。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、これまでにない1年になりました。春から続くオンライン授業、去年までとは違う生活様式の中で、心も身体も疲れてしまっているかもしれません。この状況の中でやれそうなこと、やりたいことを、焦らず探していきましょう。

今気にかかっている悩みや検討したい問題があれば、タイミングを逃さずに取り組むためにも、学生相談室を利用するのはいかがでしょうか。一人ではなかなか見通しがつかず行き詰まってしまう悩み事も、信頼できる第三者と話しながらかえてみると、整理できるかもしれません。相談の秘密は守られますので安心してご相談ください。

- ◆場 所：総合棟 2 階
(キャリアセンターに向かって左隣り)
- ◆開室時間：月～金曜日 9:30～16:30
(11:30～12:30を除く)
- ◆電 話：042-783-2158



編集後記(キャンパスライフ編集委員より)

君はえこびょんを見たか?

10月初旬の多摩。バーチャルリアリティの世界から抜け出し、はじめてリアル対面した一年生を前に、わたしは軽い気持ちで問いかけた。えこびょん知っている? 大方の期待に反し、だが口を開く者はいない。知らないの? 知らない。20人の参加者には不釣り合いに大きい中教室に沈黙が広がる。入学から半年、はじめての対面授業となったこの日、私は事の重さを痛切に感じた。彼らはえこびょんすら知らないのだ。

かつてえこびょん GO は密かなヒットであった。オレンジニットを被ったうさぎはキャンパスの要所要所に鎮座奉られ、青春を謳歌する者を励まし、また時として人生をあきらめかけた疲れた大人をその永遠のほほ笑みで救済した。図書館のカウンターで日々がんばるその姿を見るにつけ、わたしはそっとかれらの頭をなでずにはいられなかった。

だが時代は変わった。今やその脇には消毒用エタノールが置かれ、ソーシャルディスタンスが叫ばれる。もはや容易に触れることは許されない。目の前にあるその存在のなんと遠いことか。マスク姿の人間がもはや見せ合うことのないその微笑。

経済学部教授 進藤理香子



● 2020年12月1日発行 第122号
編集：法政大学多摩キャンパスライフ編集委員会
発行：学校法人 法政大学
東京都町田市相原町4342番地
Tel：042-783-2152
年3回発行

